TensorBoardの使い方

機械学習実験の可視化の方法



概要

- TensorBoardについて
- ・Google Colabについて
- ・実習

TensorBoardについて(1/4)

概要

- https://www.tensorflow.org/tensorboard?hl=ja
- TensorFlowの可視化ツールキット
- ・以下の可視化に対応
 - ・指標(損失や精度など)
 - ・モデルグラフ
 - 重み、バイアス
 - ・ 下位次元空間への埋め込みの射影
 - ・画像、テキスト、音声データ
 - TensorFlow プログラムのプロファイリング
 - · etc.

TensorBoardについて(2/4) インストール方法

- 本勉強会ではGoogle Colab環境を使用する予定ですので、お手元にインストールする必要はありません
- pipで入れる場合は以下の通りですpip install tensorboard
- インストール、バージョンについてはPythonインタプリタ内で 確認できます

```
python
>>> import tensorboard
>>> tensorboard.__version__
'2.1.1'
```

TensorBoardについて(3/4)

コードの書き方

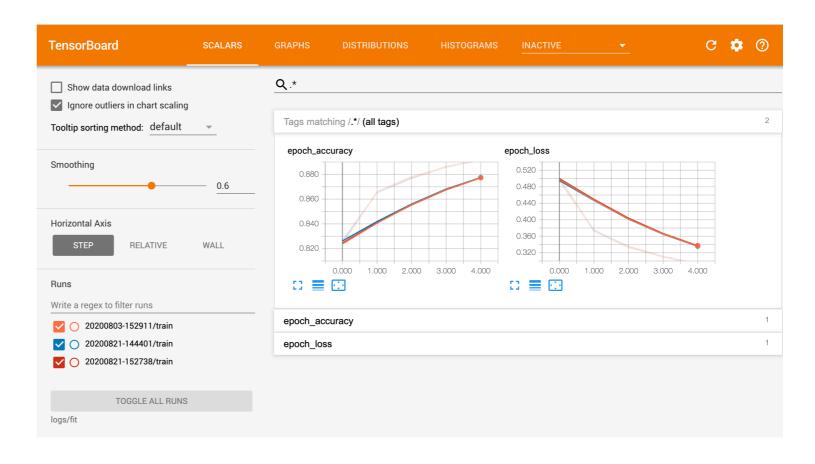
 コードにTensorBoard用のlog出力設定を追加 #ログファイルの出力先ディレクトリの設定 log_dir = "./logs/fit/" + datetime.datetime.now().strftime("%Y%m%d-%H%M%S")
 #TensorBoardのcallbackの設定 tensorboard_callback = tf.keras.callbacks.TensorBoard(log_dir=log_dir, histogram_freq=1) model.fit(train_images, train_labels, epochs=5, callbacks=[tensorboard_callback])

・後は通常のTensorFlowと同様に学習を実行すれば良い

TensorBoardについて(4/4)

TensorBoardの実行

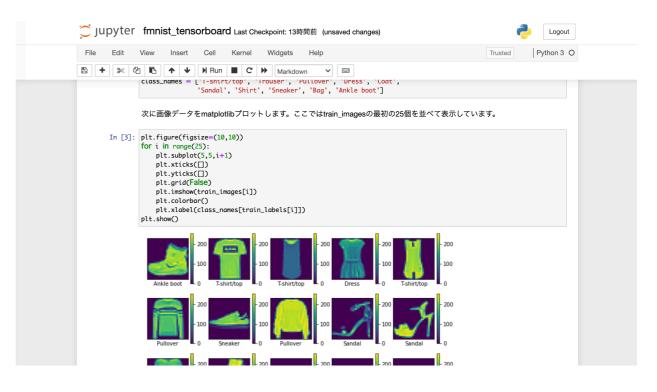
- ・ログファイルを指定してTensorBoardを実行 tensorboard --logdir logs/fit
- ・ブラウザでlocalhost:6006にアクセス



Google Colabについて(1/4)

Colabの前に ~Jupyter Notebookについて~

- Pythonを始めとしたプログラムの開発やドキュメンテーション、可視化等をWebアプリの形で実行出来るようにしたオープンソースツール
- ・pip等でインストールし、実行するとブラウザでJupyter環境が立 ち上がる → 直接Pythonコードの書き込み、実行が出来ます



Google Colabについて(2/4) インストールなしで使用可能なPython環境

- ブラウザからオンラインでJupyter Notebookを実行するための 環境
- ・環境構築なしで利用できます
- GPU、TPUなどのアクセラレータへ無料アクセス出来ます
- ・共有が容易

Google Colabについて(3/4)

機械学習での利用

TensorFlowの公式ページにあるチュートリアルなどはColabで 実行出来ます



・使用時の制限 セッションが切れて90分でインスタンスが落とされます 起動から12時間経つとセッションの有無に関わらずインスタン スが落とされます

Google Colabについて(4/4) GitHubとの連携

- ・GitHubにあるJupyter-notebookを直接Colabで開く事が可能
- Jupyter-notebookのURLを https://github.com/…

 \rightarrow

https://colab.research.google.com/github/… に変更してブラウザにアクセスすればそのままColabで開く事が 可能

実習

GitHubからのコード利用

- ・GitHubリポジトリのtensorboard/fmnist_tensorboard.ipynbにあるリンクにアクセスし、Google Colab環境が立ち上がる事をご確認下さい
- ここからは、Google Colab環境で解説いたします